

2007年度
政策・制度

「雇用のミスマッチとは？」 知事との意見交換

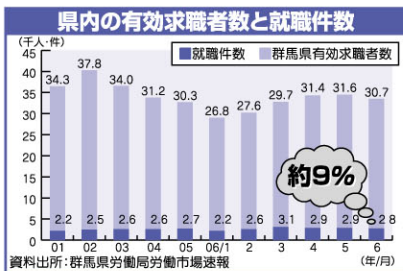


要請内容を説明した後、雇用のミスマッチなどについて活発に意見交換を行いました。

小寺知事；意識調査は県民の生活実態を反映したものとなっている。また、少数の意見であっても助け合いだけでは解決できない切迫した課題に目を向けていきたい。雇用のミスマッチとは、具体的にどのようなことを言っているのか。

連合群馬；県内の就職決定状況はこの数年変化はない。企業が求める人材が求職に来ない、求職者は希望する仕事がない状況である。「就職したい、働きたい」という若者とのギャップはもっていない。

小寺知事；職場体験の実施は素晴らしいことだ。
連合群馬；職場体験や求職者へのカウンセリングを充実させることは、ミスマッチ解消のために効果がでている。



核兵器廃絶と世界平和の実現に向けて

平和行動in広島

8月4日～6日の日程で連合群馬青年委員会より2名を代表派遣し、平和行動in広島へ参加しました。

1日目の「核兵器廃絶2006平和ヒロシマ大会」のオープニングでは、連合群馬構成組織や県民が心を込めた折鶴6千羽を献納しました。また、大会では被爆者からの訴えや平和アピールなどが行われ、同日の原爆症認定訴訟に関する広島地裁の判決について、被爆者援護の積極的推進や大阪地裁判決の控訴取下などを求める緊急アピールを採択しました。

2日目は、午前中にピースセミナー「平和の語り部・被爆体験の証言」と題した分科会、午後は連合広島青年・女性委員会のガイドで原爆ドームや平和記念公園などを巡り、戦跡や当時の状況を学習しました。

最終日は、広島市主催の平和祈念式に参列し、原爆犠牲者へ哀悼の意を捧げるとともに鎮魂と不戦の誓いを新たにしました。



ステージに献納した折り鶴



ピースウォークの様子

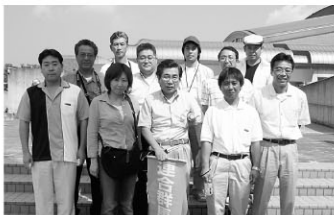
平和行動in長崎

8月7日～9日の日程で、5産別・事務局の11名が平和行動in長崎へ参加しました。

1日目は、「核兵器廃絶2006平和ナガサキ大会」に参加し、核兵器廃絶、全ての核実験の禁止、被爆者支援強化など多くの課題の実現と平和実現に向けて一層の運動を強化することが確認されました。

2日目午前中は連合長崎青年・女性委員によるピースウォークが行われ、長崎平和公園や原爆資料館などを見学、原爆の恐ろしさや被害の状況を学びました。午後は「平和シンポジウムin長崎」に参加し、現行の被爆者援護法の問題点や、国内外の被爆者を支援するため援護法の改正が必要などの確認が行われました。

最終日は2万2千羽の折鶴を原爆落下中心地公園に献納するとともに長崎市主催の原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列し、原爆犠牲者の冥福を祈り、核兵器廃絶と世界平和の実現に向けた思いを新たにしました。



ナガサキ大会の会場前で



折り鶴献納の様子

平和学習会開催！

日時:10月21日(土)9:30～11:30 会場:前橋テルサ・けやきの間

内容

- 1部:平和行動参加者による報告
- 2部:語り部による講演(講師:前橋市民 原田 恒弘氏)